

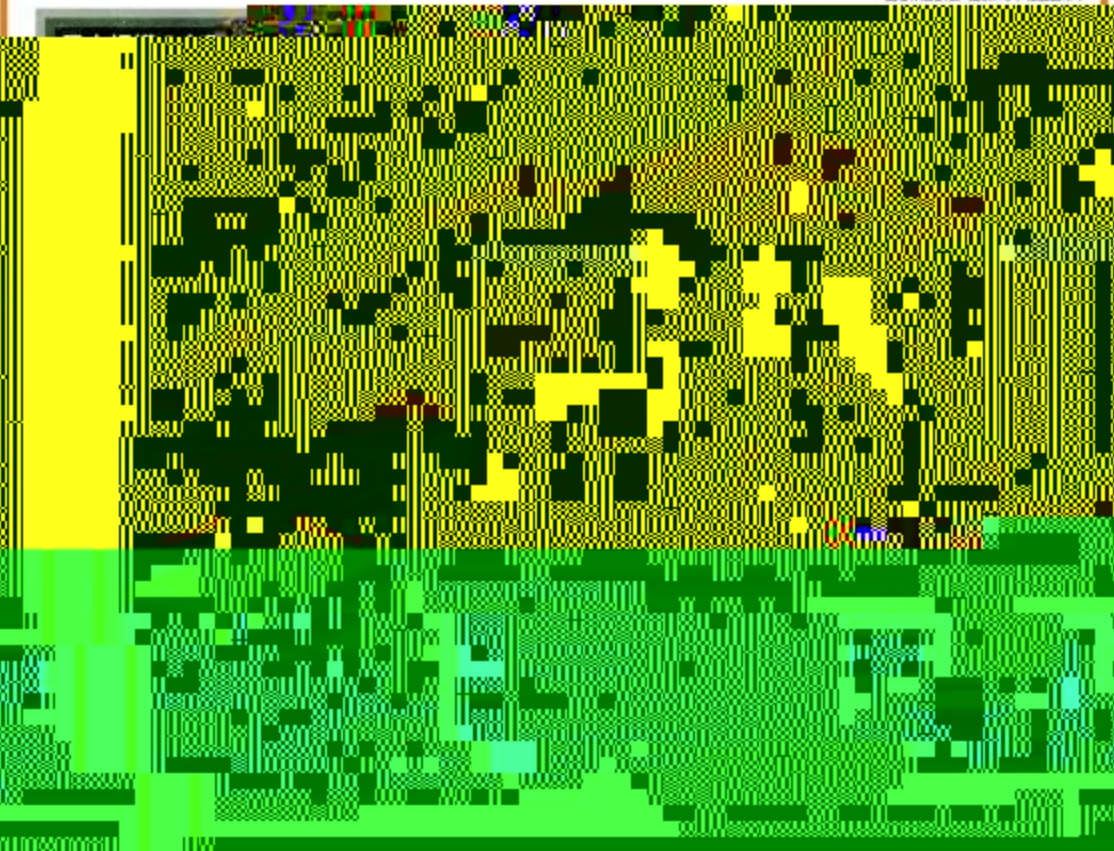
" " !

防災 命を守るために

台風に備える 下

台風に備える 下

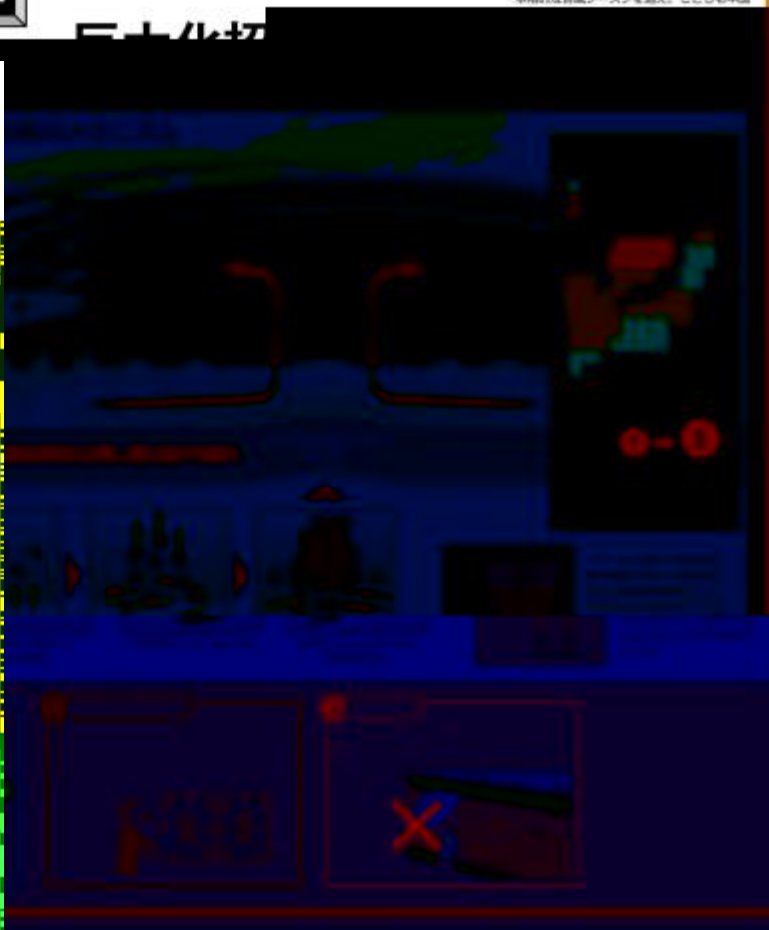
本シーズンはお盆ですが、過去には11月に上陸したケースもある台風。その被害の一つが高潮だ。広範囲は8月、九州南部と上陸も大きな台風が襲来したと想定し、高潮による浸水想定区域図を作成した。浸水エリアは広範囲中



防災 命を守るために

台風に備える 中

本格的な台風シーズンを迎え、ことしも4週



防災 命を守るために

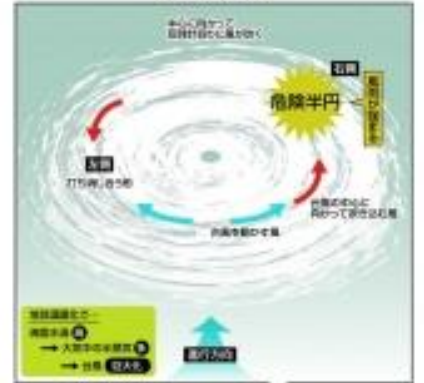
台風に備える 上

ハザードマップ HPで確認しよう

自宅の周り 危険度は

台風は自然現象だが、近年被害が拡大している。台風は自然現象だが、近年被害が拡大している。台風は自然現象だが、近年被害が拡大している。

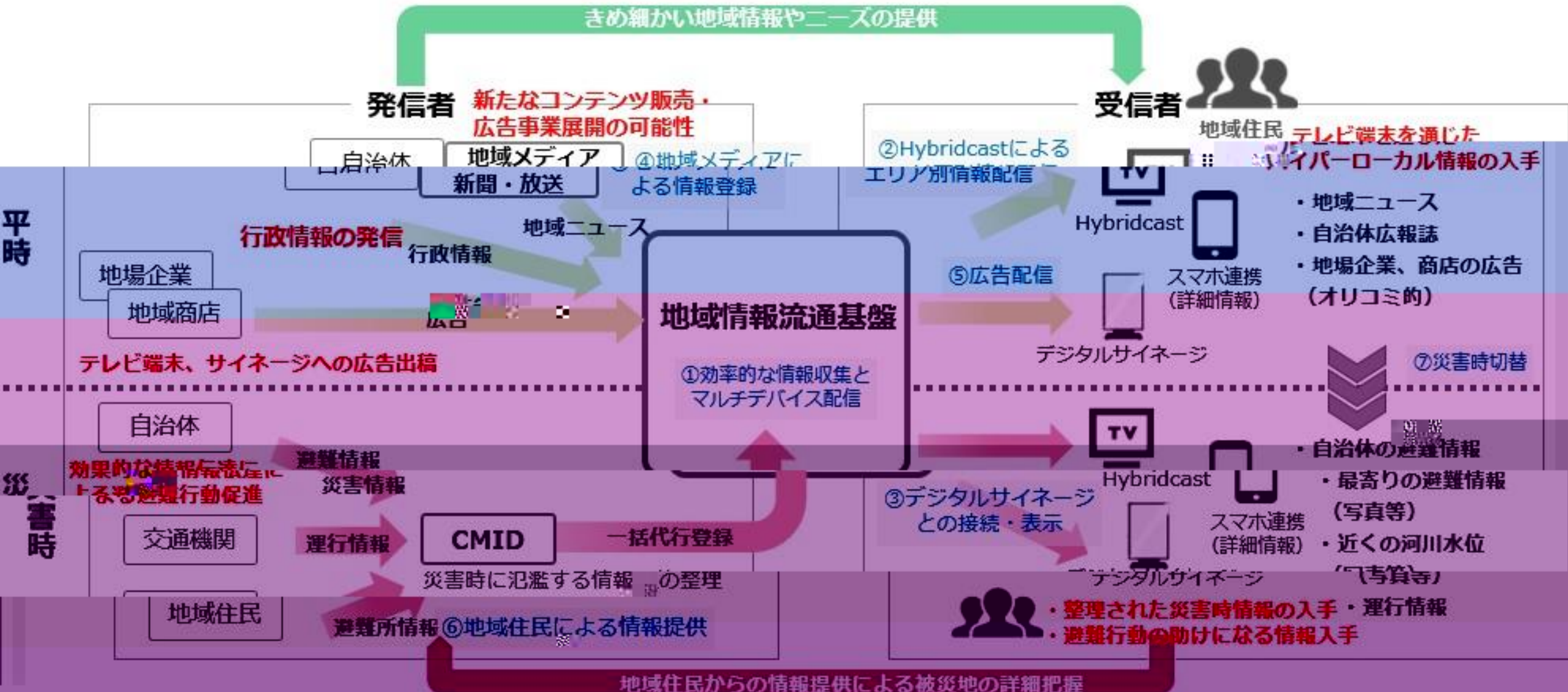
台風の仕組み



- ### 避難する時の主な持ち出し品チェックリスト
- | | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> レインウェア |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> アルミ製保冷シート |
| <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット(防災ずきん) | <input type="checkbox"/> ビニール袋 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(多機能型が便利) | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(再生) | <input type="checkbox"/> 洗濯用具 |
| <input type="checkbox"/> 携帯充電器、予備電池 | <input type="checkbox"/> 現金や通帳などの貴重品 |

災害リスク
カラーで表示
例) 広島駅

!! ! " " !



青文字：課題・検証内容 / 赤文字：各ステークホルダーの裨益内容

災害時において、地域住民からは、どのような情報が知りたいですか？（複数可）

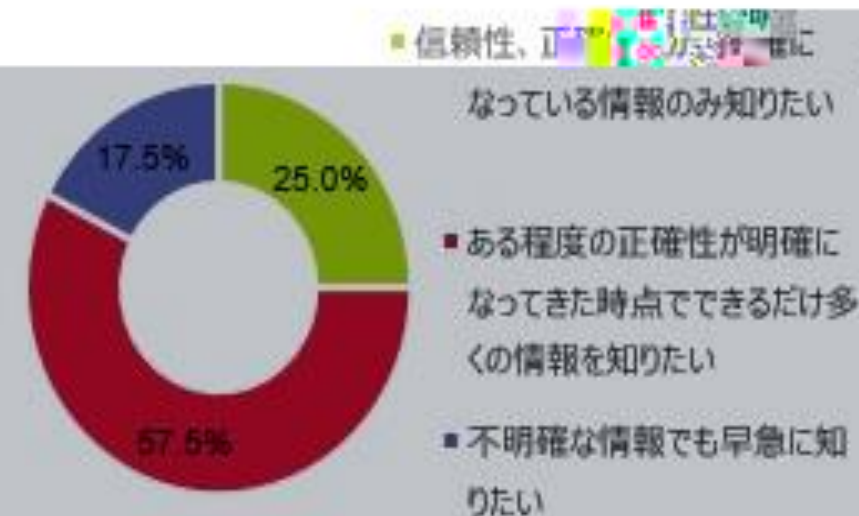
評価・考察



地域住民からの自発的な情報発信の内容として、「道路の状況」や「近くの避難所の避難状況」等、報道機関からの詳細な情報発信が難しい分野への期待値が高かった。

個人によって発信された情報は、信頼性や、正確性が不十分な場合があることについてどのようにお考えですか？

評価・考察



災害時には約80%のモニターが何らかの信頼性担保を期待している。災害時という緊急事態における情報流通の運用ルールについては、別途検討が必要。

個人による情報発信について、その信頼性、正確性を担保する方法として、どのような方法があると思われますか？

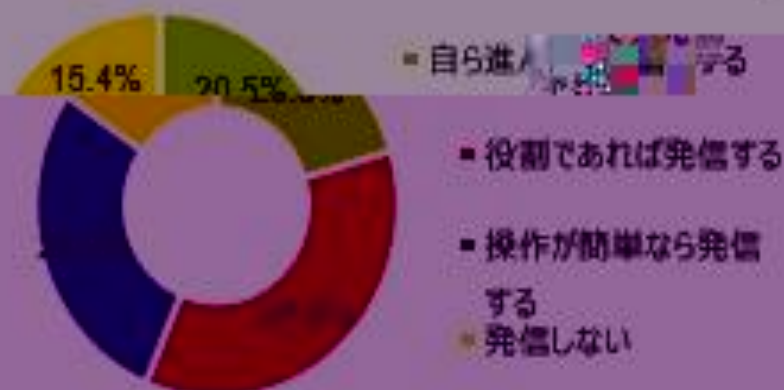
評価・考察



情報の正確性については、「情報の発信元を明示した上で情報発信を行う」ことで、正確性の担保が可能との回答が最も多かった（56%が選択）。次いで、「複数の人が類似の情報を発信した場合に流れる」が多く（34%が選択）、複数の手法を組み合わせて発信の方法を検討する方向性についても検討を進めたい。

災害時において、みなさんは情報発信されますか？

評価・考察



「発信しない」以外の選択肢を選択したのが全体の85%程度あり、仕組みを構築することで、地域住民からの情報発信は、可能と想定。